

全ての公用車にドライブレコーダーを設置します

市は、公用車による交通事故防止及び、後続車等によるあおり運転防止を目的として、2018年度から公用車にドライブレコーダーの設置を進めており、2020年度末までに全ての車両への設置を完了します。

ドライブレコーダーは、原則として車両の前後に設置します。なお、塵芥車や消防車等、一部の特殊車両については前方のみの設置となります。

全車両の前後にドライブレコーダーを設置するのは、多摩26市で初の取組みです。

■ 設置車両台数

320台

■ 設置時期

2018年度から2020年度に順次設置します。

■ 期待される効果

- ・ 職員の事故防止に対する意識向上
- ・ 庁用車の後続車等、あおり運転の防止や防犯効果
- ・ 事故があった場合の責任の明確化
- ・ 撮影した事故時の映像を活用した職員への安全教育

【ドライブレコーダー設置のイメージ】



前方のカメラはフロント
ガラスに設置します



後方のカメラはリアガラスに設置します。
また、後方に「ドライブレコーダー搭載
車」の表示をしています